

5月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成25年5月22日(火)午前9時30分から午後1時まで
2 場 所 宗像市役所本館3階・301会議室
3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 平田良枝
委員 中岡政剛
教育長 久芳昭文
4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、子ども部長柴田祐治、教育部理事後藤正弘、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会指導主事久保謙司、図書課長長谷川慎、文化・スポーツ推進課長磯部輝美、郷土文化交流課長清水比呂之、コミュニティ・市民協働課長古川博章、経営企画部世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課企画主査山本幸江、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子、宗像市社会福祉協議会事務局長吉田洋之、宗像市社会福祉協議会福祉企画課総務福祉係主任地区担当指導員酒見美加
※傍聴なし

5 報告事項

① 学校における福祉教育への取組みについて(別添資料)

【社会福祉協議会事務局長】 福祉教育は、私どもの取組みの大きな柱の1つでもございますので、この市の教育委員会のみなさんと一緒に進めていければと思っております。今日は、私どもの酒見からご説明申し上げます。

【社会福祉協議会事務局員】 前半の5分で福祉教育全般のお話を、後半の5分で地域と学校が共同で実施しております、赤間西小学校6年生の福祉教育のDVDを上映いたします。ではまず、社会福祉協議会が実施しております、福祉教育の取組みですが、大きく8つの事業を実施しております。このなかで、(1)の福祉教育推進事業、(3)の福祉教育セミナー、(8)の高校生ボランティアスクールについて、ご説明させていただきたいと思います。

別添資料参照。以下DVD視聴までの議事録なし(▲4分24秒)。

続きまして、赤間西小学校6年生が取り組む福祉教育「10年後赤間西プラン」のDVDをご覧ください。以下DVD視聴及び説明。

9月に学校の先生と赤間西地区福祉会とで、赤間西地区の現状についての学習を行いました。福祉会の会長から地域の現状、副会長から見守りネットワークのお話ををしていただきました。9月26日、6年生全ての児童に高齢者の疑似体験、階段の上り下りや、物を掴むといった

体験学習を実施。ふれあい活動では、実際自分たちが住む地域の危険な場所、高齢者にとつて住みにくいところを子どもたちと一緒に見回っていました。この活動には、約30名の地域の方にご協力いただきました。10月には再度、地区の福祉会会長、副会長に、地域ボランティア登録派遣事業について、また福祉員から一人暮らしの方の訪問での実体験を聞いたなかで、子どもたちが自分に何ができるのか、といった問題提起にもつながっています。そして1月、提言の会では、地域の方を招いて、自分たちが一緒に地域の点検活動で回り改善したい提言をそれぞれの班に分かれて行いました。子どもたちが提言しているものを詳しく地域の方に見ていただいて、改善できるところ、少し難しいところについて、助言、アドバイスをいただいている。既に提言内容について改善しているところもあります。この「赤間西10年後プラン」というのは、自分たちが住んでいる赤間西地区が、高齢化が進むなかでも、共に生きる社会として、みんなが住みやすい地域づくりに、どういった提言をしたらしいのか、というものが盛り込まれた事業になっています。

【井上委員長】 毎年、社会福祉協議会の年間計画やその結果の報告をしていただいております。せっかくの機会ですので、ご質問がございましたらお願いします。

【平田委員】 質問ではありませんが、学校に行くたびに、様々な福祉教育の場面に出会い、子どもたちの視野の広がりや、いろいろな方を理解する教育につながっていると思わせていただいておりました。今日また映像を見て、赤間西地区が地域と密着して広がり、効果が本当に表れているという感じを抱きました。

【川上委員】 私も毎年見させていただいて、年々更新され、充実していく姿をとても嬉しく思っています。特に、赤間西小学校では、非常に深く取り組まれていて、継続し、宗像市全域に広がっていけば、福祉の向上につながっていくのかなと思いました。

【井上委員長】 ずいぶん定着し関心が高いということで、DVDでは赤間西小学校だけを見せていただきましたが、おそらく他の学校でもこのような形で活動がなされているのではないかと思います。大変心強く思いました。

6 前回（4／23定例）議事録の承認（資料1）

《承認》

7 議案

- ① 議案第10号 宗像市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
(資料2)

《承認》

【久芳教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲19秒)

【教育政策課長】 資料2参照。議事録なし。(▲2分31秒)

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。なければ、議案第10号につきましては、承認いただけますか。

【各委員】 はい。

② 議案第11号 宗像市小中一貫教育推進協議会委員の選任（案）について（資料3）

《承認》

【久芳教育長】 資料3参照。議事録なし。（▲19秒）

【教育政策課長】 資料3参照。議事録なし。（▲1分24秒）

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【川上委員】 市民代表の方は、どの地区の方ですか。

【教育政策課長】 自由ヶ丘地区と日の里地区です。

【井上委員長】 第1回目の会議は、いつ開催されるのでしょうか。

【教育政策課長】 来月の定例教育委員会にて諮問内容を審議していただいて、7月中に第1回会議を開催する予定です。

【井上委員長】 議案第11号につきましては、承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③ 議案第12号 宗像市就学指導委員会委員の選任（案）について（資料4）

《承認》

【久芳教育長】 資料4参照。議事録なし。（▲14秒）

【教育政策課長】 資料4参照。議事録なし。（▲28秒）

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【川上委員】 質問ですが、合計の人数について、今回18名から17名になっています。24年度5月の定例教育委員会で発達支援センターの方が2人必要だという理由で、18人に増員いたしました。その時のお話では、委員会開催回数が多く、過半数の出席がないと委員会は開けないということで、18人にしました。今回、適応指導教室長がいらっしゃらなくなるということで減っていますが、人数が減る事に関して問題はないのでしょうか。

【教育政策課長】 今回、結果的に人数が17人になりましたが、発達支援センターの職員は2人入っておりますので、委員会の運営に問題はないと考えております。

【井上委員長】 17名で進めでは、また前回と同じような自体が起きることが予想され、会議の成立が難しいのではないでしょうか。

【教育部長】 委員会の運営に課題が出るようであれば、場合によっては増員したいと思います。まずは17名で進めていきたいということでございます。

【井上委員長】 これを否決する訳ではありません。過去にそのような問題があつて、人数を18人にした経緯等がありましたので、お伺いしました。この件につきましては、ご承認いただけますか。

【各委員】 はい。

④ 議案第13号 宗像市学校図書館推進協議会委員の選任（案）について（資料5）

《承認》

【久芳教育長】 資料5参照。議事録なし。（▲15秒）

【図書課長】 資料5参照。議事録なし。（▲41秒）

市民代表のPTA代表が空白でございます。この件につきましては、24日の会合で決定す

るため、その会合を待ちまして、改めて氏名を入れさせていただき、任期が6月1日からになりますので、空白のままで仮のご承認をいただけますでしょうか。

【教 育 部 長】 今の空白のところは、明後日の会長会で決まりますので、24日に決定次第、各委員にご報告し、個別の持ち回りをさせていただいて、承認をいただくということで、本日提案させていただいております。

【井 上 委 員 長】 それでは、市民代表のPTA代表の欄が空白になっておりますが、諸事情を含めて、議案第13号につきまして、承認いただけますか。

【各 委 員】 はい。

⑥ 議案第14号 宗像市スポーツ推進審議会委員の選任（案）について（資料6）
《承認》

【久芳教育長】 資料6参照。議事録なし。（▲15秒）

【文化・スポーツ推進課長】 平成17年度から26年度までを第1次スポーツ振興計画と言っておりましたが、第2次の27年度からは、スポーツの持つ力を幅広く活用していくプランをということで、スポーツ推進計画と名称を変えております。委員選出の大きな特徴といたしましては、以前まではスポーツ関係者やスポーツの専門家だけで構成しておりましたが、今回は大きく幅を持たせ、スポーツマネジメントとか、スポーツビジネスの専門家、スポーツレジャークリエーションの専門家、観光協会の事務局長といったように、多種多様な方に集まっています。

【井 上 委 員 長】 名称も以前はスポーツ振興計画ということで、非常に大きな計画でした。ひとつひとつの事業は細かくできておりますけれども、実際には実行できていない部分があったように思うのですが、いかがですか。

【文化・スポーツ推進課長】 10年間の計画は、前期と後期に分かれておりまして、今委員長がおっしゃったのは、前期の計画の部分で、地域に一つずつ体育館を造るとか、学校体育のなかにも踏み込んで、色々な提案がなされていました。後期の22年から26年は、実効性を高めて、現実的な取り組みをしていこうということで、大幅に中身を見直したなかで取り組みを進めており、進捗としてもほぼすべての計画に着手しております。

【井 上 委 員 長】 私の誤解している面もございましたので、少しお聞きしました。この件で、何かご質問はございますか。

【川 上 委 員】 この審議会は、今度新しくまた発足するという認識でよろしいですか。

【文化・スポーツ推進課長】 はい。

【川 上 委 員】 市民代表の枠があるのですが、今回は選ばれなかったということですか。

【文化・スポーツ推進課長】 審議事項は専門的なものですので、市民の方のご意見は、別途ワークショップ等を開きながら、また、市民意識調査も計画いたしております。ワークショップは来年の1、2月に開いて意見を聴取する予定です。

【井 上 委 員 長】 他にご意見がなければ、議案第14号につきまして、承認いただけますか。

【各 委 員】 はい。

⑥ 議案第15号 第2次宗像市スポーツ推進計画について（諮問）（資料7）

《承認》

【久芳教育長】 資料7参照。議事録なし。（▲20秒）

【文化・スポーツ推進課長】 この審議会諮問については、第2次宗像市スポーツ推進計画の案を答申いただくこととなります。次のページに策定にあたっての基本方針を示しております。

以下、資料7参照。議事録なし。（▲4分6秒）

【井上委員長】 本日、お示しの基本指針に則って進めていきたいということですね。今回、承認されれば、この資料の空欄に本日の日付が記載されるのですか。

【文化・スポーツ推進課長】 はい。

【井上委員長】 答申するまでの途中経過、中間答申はありますか。

【文化・スポーツ推進課長】 遅くとも今年度いっぱいの中間答申をまとめていただいて、教育委員会にご意見をいただき、最終案をまとめていきたいと考えております。

【中岡委員】 非常に大事な内容だと思います。40ページ(4)についてですが、スポーツを自由に楽しくやろうとする場合、場所や施設がしっかりとしているということと、もう一つは、使いやすいということ。たとえば、宗像市のスポーツ関係の施設等を使用する場合の許可の場所は、公園は公園の管理部署、市民体育館は体育協会と、窓口がいろいろあり、利用方法が難しいと聞いております。施設の統廃合以外にも、窓口ができるだけハッキリとする、「ここに行けばすべてできます」といった、市民の利便性を考えていきたいと思います。ただ、今回は基本指針ですから、細部の記載は難しいと思います。大事なことですので、申し上げました。それから、施設の統廃合について、中核拠点となる体育館については、市財政の推移や築年数を考慮した対応と書いてあります。これについて説明をお願いします。

【文化・スポーツ推進課長】 まず窓口の一元化についてですが、現在、体育館などの市のスポーツ施設は文化・スポーツ推進課、それ以外のスポーツ公園は維持管理課と、2箇所で管理している状態です。これは今年度中に、一元化の方向で検討しておりまして、来年度から、一元化管理で対応できないかと進めています。もう一つ、中核拠点の体育館でございますが、市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センターの3館は、昭和55年から57年の間ぐらに建設されております。当時人口5万人ぐらいの時に整備した施設で、スポーツをすることだけに着目し、応援者の観覧場所がないというのが、野球場も含めて宗像市の特徴でございます。新設については観覧席があり、10万人規模に対応したものが考えられますが、市の財政が非常に厳しい状況のなかでは、アセットマネジメント計画があるのですが、たとえば勤労者体育センターと市民体育館は非常に近い距離にございますし、一定の統廃合も、視野に入れ検討することが必要になると考えます。ただし、これは財政面が伴って参りますので、築年数も合わせたところでの検討を進め、何らかの方向性が必要だと考えております。

【中岡委員】 説明で十分わかりました。個人や少人数でスポーツを楽しむ施設ももちろん大事ですが、スポーツに対する市民の意識を高めることを考えると、見に行こうかなと思う大会が、市内で行われるか否かというのは、大きいと思います。グローバルアリーナでは、整った施設でいろいろなものが催されていますが、それは民間の事業で、市の施設でも、座席のある観戦施設なども含めて整備し、できるだけ意識高揚の面も考えていただきながら、作っていただきたいです。ユリックスにもイベントホールがありますが、使用料が高く、と

ても大会などできません。やはり利用しやすい市の施設は必要ではないかと思います。

【井上委員長】 策定にあたっては、今言われた中岡委員さんの意図も勘案していただいて、進めていただきたいと思います。よろしいでしょうか。第15号については、承認いただけますか。

【各 委 員】 はい。

⑦ 議案第16号 文化財「平山天満宮本殿」の市指定について（資料8）

《承認》

【久芳教育長】 資料8参照。議事録なし。（▲18秒）

【郷土文化交流課長】 資料8参照。45ページの本殿全景という写真をご覧ください。これを見ますと、中に本殿がございまして、その外側を覆屋で囲っているという、そういう形態をとっています。通常であれば、本殿そのものがあり、その後、本殿自体を風雨から守るため覆屋を設置するのですが、この本殿の特徴としましては、建築当初から覆屋を想定した建築物であり、非常に特異であるという内容になっております。それが、基本的な主な理由になります。

その他議事録なし。（▲1分27秒）

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【久芳教育長】 市の文化財の指定件数は、どのくらいありますか。

【郷土文化交流課長】 文化財の建築に関しましては、これが市の指定としては3件目です。1件目は八所宮の中にあります、長宝寺という建築物がありまして、中に平安仏などが安置されているもので、それが建築物としての第1号です。2件目は、鎮国寺本堂です。

【井上委員長】 場所は八所宮と吉留で近いところに位置していますね。

【郷土文化交流課長】 はい。

【井上委員長】 第16号については、承認いただけますか。

【各 委 員】 はい。

【井上委員長】 先程も申し上げましたように、議案第17号、第18号、第19号については、報告事項の後に審議したいと思います。

8 報告事項

① 行政報告（資料9）

【久芳教育長】 4月23日以降の報告をさせていただきます。4月30日に臨時校長会を開催いたしました。これは先だって行われました、体罰に関する調査の福岡県分が4月30日に国へ報告され、マスコミにその情報が提供されるとのことでしたので、各校長先生方にその情報を早めに提供し、マスコミや保護者等の問い合わせに対応していただくよう、開かせていただいております。5月15日には、教育センター研究員の研修会を開催いたしました。これは2年間にわたって研究をしていただくもので、宗像市からは、6人の方が研究員になっておられます。その内、2年目の方が3人、今年から研究員になった方が3人で、今

年度は8回程度の研修会、会議等に出席をしていただくことになっております。

【井上委員長】 これは宗像市独自のものですか。

【久芳教育長】 宗像市と福津市と合同です。福津市からは、2年目の方が2人、今年からの方が1人ということで、全部で9名ということになります。それから、この5月15日を皮切りに、電子黒板等でICTを活用している学校を、希望される市議会議員の方に視察していただきます。5月15日、17日に河東西小学校で、28日に玄海小中学校で授業を見ていただきます。また、18日に世界遺産登録推進会議が行われました。ちょうど今回、富士山が登録、鎌倉が不登録ということで、イコモスからの勧告があり、その結果を受けて、知事から沖ノ島の普遍的価値を踏まえて運動をしっかり進めていきたいというお話をあっております。推進会議が終わった後に、知事とマスコミも含め65名ほどで、沖ノ島の視察もさせていただいている。それから、21日、管内教育長会がございました。この席で、5月2日にマスコミに公表した、先程の体罰調査結果について報告がございました。福岡県内の発生件数につきまして、小学校で43件、中学校で108件、高等学校で81件、特別支援学校で3件の合計235件という数字が報告されております。教育長会議の後、引き続き、福岡地区学力向上推進委員会が行われまして、今年度の新規事業として行われます、診断テストについて話がございました。小学校5年生から中学校3年生まで、全てを対象にし、小学校が3回、9月、11月、1月に実施されます。それから、中学校は9月と1月に実施されるということでございます。ここで問題になりましたのは、中学校3年生に対して1月にテストを行うというのは、いかがなものだろうかという点です。これは義務教育課に意見を申し上げるとのことでした。

② 後援報告（資料10）議事録なし（▲3秒）

③ 平成24年度宗像市教育委員会事業成果報告について（資料11）

【教育政策課長】 昨年、中間報告をさせていただいております。今回は成果報告ということで、平成24年度事業が完了いたしましたので、一番右側に成果を記載させていただいております。

【平田委員】 88ページ6番の情報化モデル検証事業ですけれども、成果が活用方法を研究しているというところで止まっておりますが、新規の事業なので、効果や利用頻度など、もう少し具体的に示す必要があるのではないかと思います。25年度の計画のなかにも、24年度の成果を受けてという説明もありますし、予算も倍増しておりますので、わずか2、3学期の短い期間でしたけれども、そこで見えてきたものを、ここで成果として挙げていただきたいと思いました。いかがでしょうか。

【教育政策課長】 追加させていただきます。

【教育部長】 これは24年度に初めての試みの部分で、電子黒板等を導入し、ようやく今年度に入って、先生方も機器の操作を熟知され、少し動き出したかなというところです。今年度、研究発表もございますので、それを交えて、また進捗状況を成果も含めて報告させていただきたいと思います。

【井上委員長】 具体的な成果を書くことはできないにしても、成果の記載欄ですので、活

用方法を研究しているという程度ではなく、少し工夫していただきたい。

【平田委員】 94ページ41番の青少年海外派遣事業です。23年度に検証して、24年度に施行しておりますけれども、この成果のところが、行事を行ったことしか述べられていません。継続事業ですので、施行した成果をきちんと示していただければと思いますが、いかがでしょうか。

【子ども育成課長】 この事業につきましては、改善策に基づいて、24年度実施いたしまして、応募者の増加など成果があったと考えております。具体的な成果につきましては、追加したいと思います。

【井上委員長】 確かに色々実施したことは、成果につながっていると思いますので、もう少し成果がみえるように書いていただきたいです。特に23年度に事業内容を検証して、24年度の海外事業はすごく良かったと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【子ども育成課長】 はい、わかりました。

【川上委員】 89ページの13番、小中一貫教育支援教員配置事業ですが、今年度は小中一貫教育推進事業に統合されているということで、よろしいですか。

【教育政策課長】 はい、そうです。

【川上委員】 24年度なのですが、小中一貫教育支援教員を配置したにも関わらず、活動されてない中学校区があったと思います。校長先生の方針に従われているのでしょうか、やはり小中一貫教育という目的で配置されたのであれば、一年の中でしっかりと活用していただきたいと思いますが、どうお考えでしょうか。

【後藤理事】 本来あるべき小中一貫教育、例えば支援教員については、中学校区での派遣等、小中一貫教育を担う役割を指導しておりますし、きちんと行っているかどうかを、状況の中で確かめていきたいと思っています。

【教育政策課長】 一部の学校でそのような状況がありましたので、今年はそのようなことがないようにしたいと思います。

【川上委員】 ぜひ、お願ひします。これに関連して、公用車を新たに中央中学校区に配置されると思いますが、これは毎年、年度ごとに他の地区にも配置していかれるのですか。

【教育政策課長】 24年度には日の里中学校区、25年度は中央中学校区で、兼務教員配置校に対して、年次的に配置していくこうと考えています。

【井上委員長】 兼務教員が配置されているところだけですね。

【教育政策課長】 まずは、兼務教員がおられるところを優先的に考えています。

【井上委員長】 城山中学校区は兼務教員がいないのですか。

【教育政策課長】 おりません。今年度から、河東中学校区にも兼務教員が配置されますので、来年度は予算が整えば、河東中学校区に配置予定です。

【井上委員長】 効果は大きいでしょうね。

【川上委員】 大きいと思います。移動ができれば、兼務もしやすいと思います。免許の問題等もありますが、よりスムーズに小中一貫教育ができると思います。予算も掛かることですが、是非、お願ひしたいです。

【中岡委員】 88ページの8番、通学・学校安全事務、括弧書きのところです。宗像市でも危険箇所の再点検を警察署、県道路管理者、市道路管理者と合同で行ったとあり、危険

箇所の点検等についてはもちろん、一番大事なことだと思います。加えて、日常的なところで、通学路に大きな工事が入ったりすることがあります。例えば、トラックが日に4、50台土入れや建築資材の運搬をするとか、そういった場合には、学校に必ず連絡をするようになっていると思います。実は、赤間小学校と城山中学校の通学路に関わる部分で、業者の説明会があったのですが、危険がないように、歩道の確保だとか、あるいはトラックの出入り方法なども、一番大事な学校との連絡がされていませんでした。県の土木事務所には届出をしているはずですから、把握されていると思います。その辺と教育委員会との連絡をきちんとして欲しいと思いました。安全点検ももちろんすけれども、年間を通じて、工事関係についても、必ず学校に連絡を入れて調整をしていただきたいです。

【教育政策課長】 今回、赤間地区にスーパーができるということで、学校に行き、工事業者の方が説明したという話を聞きました。大きな工事がある場合は、当然、事前に教育委員会にも開発許可申請が上がってきますので、その内容を今後は学校に周知をさせていただきたいと思っています。

【中岡委員】 実際には、土入れなどの工事が始まって、トラックが出入りしているのに、まだ説明されていない状態でしたので、事前の周知をお願いします。

【教育政策課長】 はい。今後、徹底いたします。

【井上委員長】 87ページの1番、ALT派遣事業のところですが、成果のところで、ALTマネージャー1名を平成24年度配置ということになっております。ALTマネージャーの経歴や業務、その成果を説明していただけますか。

【教育政策課長】 ALTマネージャーにつきましては、教育政策課に1名配置しています。基本的には、ALT7名とALTマネージャー1名の計8名を委託のなかで雇用しているところです。ALTマネージャーの役目ですが、ALTの研修を月1回行っております。また、各学校からの要望などを聞いてALTに伝えるなどの連絡調整を行っています。

【井上委員長】 24年度からですか。

【教育政策課長】 23年度からです。

【井上委員長】 そうすると、ALTマネージャーは、すでに上手く活用されているということですね。この派遣事業の平成24年度の成果ということで書かれる場合に、24年度から置いたように見えます。実際には23年から配置しているのであれば、この書き方では不十分ではないでしょうか。今までではなかったのかなと思います。もう実績がある訳ですよね。

【久芳教育長】 当該年度の配置状況の記載ですので、このままでよろしいのではないですか。

【平田委員】 11番ですが、スクールカウンセラーとスクールアドバイザーの違いを教えてください。どちらも、臨床心理士と書いてあったと思います。

【教育政策課長】 業務内容と資格要件はほぼ同じで、任用形態が異なります。年間を通じて任用しているのが、スクールカウンセラーで、スクールアドバイザーは、必要に応じて雇用するかたちを取っております。

【井上委員長】 ここでいったん休憩に入ります。11時から再開します。

10分休憩。

④ 平成25年度宗像市教育委員会事業について（資料12）

【教育政策課長】 資料12、101ページから、平成25年度の教育委員会の全事業になっております。平成25年度の新規事業につきましては、事業名の前に星印をつけておりますので、ご確認ください。

【川上委員】 58番の市民スポーツフェスタIN宗校（10周年記念事業）は、新規ではないのですか。

【教育政策課長】 新規ですので、星印を追記してください。

【平田委員】 57番はいかがですか。

【文化・スポーツ推進課長】 昨年、復活していたのですけれども、ハーフマラソンになるなど規模が拡大し、中身が変わってきていますので、新規でもいいと思います。

【井上委員長】 それでは、新規事業と考えて、合計8件ぐらいあるのですか。

【教育政策課長】 新規は、21番、48番、50番、57番、58番、67番の6事業です。

【井上委員長】 新規事業6件を含めて、平成25年度の教育委員会の事業について、ご意見ご質問がございますか。

【教育政策課長】 訂正をお願いします。4番の学校情報化モデル検証事業でございますけども、事業計画欄の「8校」を「10校」に訂正してください。

【井上委員長】 新たに10校ですね。そうすると残りがいくつになりますか。

【教育政策課長】 残り6校です。

【中岡委員】 102ページ、8番、学校教育振興事務の事業計画について、前後関係がわからないので、教えてください。3行目に「中学校の部活動指導者に協力依頼する」とありますが、何を協力依頼するのですか。

【教育政策課長】 中学校の部活動を指導していただける外部指導者を募って、希望する中学校に配置するものです。事業内容にこのような説明文が入っておりませんでした。1人3万円、40人分の予算を組んでおります。

【教育部長】 事業内容欄に説明を加えて、わかるように記載します。

【文化・スポーツ推進課長】 71番の市民文化活動振興事業のなかに、新規事業である市政10周年的市民音楽祭を、追記させていただけますか。

【井上委員長】 修正版を後日配布していただきますようお願いします。

【川上委員】 質問です。104ページの23番、ALT派遣事業の事業計画のところの1行目ですが、青少年センターはなくなったので、適応指導教室のことと考えてよろしいでしょうか。

【教育政策課長】 はい。適応指導教室に修正をお願いいたします。

【平田委員】 28番、学校給食管理運営業務のところですけれども、事業計画のなかに、「食物アレルギー対応マニュアルについての改訂を行う」という文言を入れていなくてもよろしいのでしょうか。24年度報告のなかには、25年度に行うと書かれておりましたけれども。

【学校管理課長】 追記してください。

【川上委員】 確認です。109ページの55番、体育施設改修事業の事業計画のところなのですが、下から3行目の自由ヶ丘中学校のナイター設備について、「24年度に工事を行

った」になっていたのですが、25年度では「行なう」になっています。これはどちらが正しいのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 設計業務ですから、「設計業務は行った」でよく、24年度に設計を行い、25年度に工事を行ったということです。

【川上委員】 わかりました。

【中岡委員】 先程の学校教育振興事務について、昨年度予算は3,900万で、本年度予算は6,400万と、大体倍増という状況になっています。昨年度は武道の関係とか、あるいは和楽器の関係とかで、予算がかなり必要だったのではないかと思うのですが、今年は少し減るのではないかと思うのですがいかがですか。

【井上委員長】 おそらく、事業内容の中身が増えているところがあるのでしょうか。

【中岡委員】 そうですね。教科書の関係なのかなと思いましたが、それでも倍増しています。

【教育政策課長】 学校配当予算というものがございまして、各学校で使う消耗品や備品、研修会の講師報酬などの予算なのですが、これまでこの予算は別に計上しておりました。それを25年度から、学校教育振興事務費に統合し、計上したため、予算が増えているものです。

【中岡委員】 106ページ、34番、子育て支援事業の事業計画について、23年度と24年度に実施していた「新米ママ・パパ子育て支援事業」は今年度なくなっているのですか。

【子ども育成課長】 新米ママ・パパ子育て支援推進事業につきましては、24年度まで子育て支援事業の中で行っておりましたが、この新米ママ・パパ子育て支援推進事業と子育て支援センター事業を宗像子育てネットワークこねつとに委託していること、また対象が重なるということで、25年度からは、効果的に事業を行うために子育て支援センター事業に位置づけ実施することにしました。

【中岡委員】 説明を受けていましたか。

【子ども育成課長】 説明していなかったかもしれません。

【平田委員】 103ページ、14番、心の相談事業のところで、全中学校に県派遣のスクールカウンセラーを配置、そして、市費雇用のスクールカウンセラーを城山中学校と河東中学校にということは、2校には2名配置していると理解していいですか。

【教育政策課長】 スクールカウンセラーにつきましては、全中学校に県費で配置しているのですけれども、市費により河東中学校と城山中学校の時間を上乗せしています。通常週4時間なのですが、この2校だけは週8時間となります。延べ人数は2人になりますが、実際は、県費と同一人物にお願いしていますので、実質はお1人です。

【平田委員】 他は4時間だけども、2校は8時間ということですね。わかりました。

【中岡委員】 107ページ、43番、若年者専修学校等技能習得資金事業について、昨年度、相談された方が1名で、結局、もらわれた方はいなかつたと思います。この貸付金募集は広報以外にお知らせされず、あまりよく知られていないのではないかと思います。学校も含めて、案内等の方法を少し考えたほうがいいのではないでしょうか。

【教育政策課長】 この貸付金につきましては、一覧表に掲載された学校でなければならぬなど制限があり、他の奨学金の方が条件的に良いことが多いものの、問い合わせもほと

んどない状況ですので、案内等が不十分ということがあるかもしれません。

【井上委員長】 長い間継続しているのに、過去を紐解いても件数が少ないとということは、事業内容を再検討して、形をもう少し変えるなどの工夫が必要ではないですか。

【教育政策課長】 これは県の事業でございまして、私どもが変えるということができません。県から全額補助金が出て、それを市の歳入に入れ、市から市民に貸し付ける形で、内容は変えられない事業です。

【平田委員】 104ページ、22番、特別支援教育推進事業のところで、「講演等により」という記載がありますが、講演は行われているのでしょうか。あまり耳にしたことがなかつたものですから。巡回相談、講演等により、支援体制の整備を図るという内容のなかにも、計画のなかに出ておりますけれども、どういった講演がなされているのでしょうか。

【正路指導主事】 最近は、もっぱら巡回相談を行っています。これと別では、教育大との連携で講演会とかいう計画はございます。

【教育政策課長】 少し見直しをさせていただければと思います。

【川上委員】 24番に該当する分ではないのかと思うのですが、学校施設管理事業ですが、この間、玄海中学校に行った時に、校長先生から裏山から校舎内に簡単に進入できるというお話を伺いました。進入口に門か何かが欲しいと要望しているとおっしゃっていたのですが、実際、山のほうからだったら何の障害もなく、校舎内の2階のベランダまで、階段でまっすぐ上がってこられて、非常に危険ではないのかなと思いました。そういう臨時のお願い等があった時は、この学校施設管理事業から予算が組まれているのでしょうか。

【学校管理課長】 大規模な改修から小規模の修繕まで、全部この事業で予算を組んでいますが、各学校からは、年間数百件という要望が上がってきます。また、秋にもヒアリングしておりますし、突発性のものもあります。予算の範囲内ということもありますので、優先順位をつけて、一番危険性の高いものから、実施をしているところでございます。

【川上委員】 よく学校からお聞きするのが、要望は出しているのですが、回答が非常に遅いと。「今できない」とか「このぐらいにはできそう」だとかの回答をするよう、改善していただけないかと思います。

【学校管理課長】 了解いたしました。

【井上委員長】 状況を知りたいということですので、やはり回答はできる、できないを含めてお願ひいたします。

【中岡委員】 学校施設管理にあたるのかなと思うのですが、玄海中学校に行ったおりに、気がついたのですけれども、玄海小学校の以前の表示が、信号のところにそのまま残っているのと、逆に、宗像大社のほうに向かって、B&G体育館関係の施設と、玄海中学校の表示はあるのですが、玄海小学校の入口の表示がないのです。ぜひ、小学校、中学校両方に別途で、案内板をつけていただきたい。小中一貫校でもあるので、そういったことを含めて立てていただくと、訪問する場合によいと思います。

【井上委員長】 少し入りにくいですね。

【学校管理課長】 学校管理課だけでなく、維持管理課や他の部署にも関係することですので、今後協議してまいります。先程の旧玄海小学校の信号機については、取りはずす計画になつておりますし、その辺合わせて、早急に対応したいと思います。

⑤ 第8回宗像市図書館を使った調べる学習コンクールについて（資料13）

【図書課長】 資料13参照。平成24年度につきまして、全応募作品が625作品。内訳につきましては、小学校が561作品、中学校が64作品ございまして、そのなかから、全国コンクールに13作品を推薦させていただきました。13作品のうち、小学生の部で優秀賞が1、優良賞が2、奨励賞が2、中学生の部で優秀賞が1、奨励賞が1、併せて7作品が受賞しております。その他議事録なし。（▲40秒）

⑥ 宗像市教育委員会研究指定に伴う研究発表について（資料なし）

【西島指導主事】 本年度予定しております玄海中学校区の小中一貫教育の研究発表につきましては、ICTを含めて実施したいと考えております。その他の研究発表につきましては、来月の定例教育委員会でご説明したいと思います。

⑦ 宗像市立小中学校における土曜日授業について（資料14）

【正路指導主事】 資料14参照。

【平田委員】 日の里西小学校は、9月14日に実施予定となっておりますが、日の里西だけ防災訓練を違う日に行うのですか。議事録なし。（▲1分59秒）

【正路指導主事】 7日の間違いです。修正をお願いします。

⑧ 小学生読書リーダー養成講座について（資料15）

【図書課長】 資料15参照。議事録なし。（▲32秒）

【井上委員長】 これは県との事業ですか。

【図書課長】 昨年は、確かに県と一緒にさせていただきましたけども、今年は市単独でさせていただきます。対象者につきましては、市内各小学校の図書委員会の児童、ここに書いてありますとおり、各校2人程度ということになっておりました。

⑨ 宗像市民図書館雑誌スポンサーについて（資料16）

【図書課長】 資料16参照。議事録なし。（▲1分5秒）

⑩ 標準学級数に関する調査（平成25年5月1日）による児童生徒・学級数について（資料17）

【教育政策課長】 資料17参照。議事録なし。（▲54秒）

⑪ 世界遺産事業関係平成24年度報告及び平成25年度計画について（資料18）

【世界遺産推進室長】 資料18参照。議事録なし。（▲9分3秒）

⑫ 学校の日における道徳の時間、学級活動公開日一覧について（資料19）

【教育政策課長】 資料19参照。議事録なし。（▲22秒）

【井上委員長】 前にもありましたけれども、修正があった時には早めに連絡お願いします。

⑬ 5月学校の日について（資料20）

【久芳教育長】 大島小中学校に行って参りました。小学校で印象に残ったのは、音楽の授業で、楽器の演奏について指導があったのですが、少人数のなかで、中学校の専科教員による授業ということで、正に個人レッスンといった感じでございました。非常に良かったなど印象深く思いました。それから中学校では、今年は特別支援学級の設置が認められましたので、その授業を見たのですけれども、校長先生の話では、個人に応じた授業ができる、本人も学ぶ意欲というのが出てきているようだということでございました。改めて、今年度は、大島小中学校につきまして、人事配置が手厚くなりましたので、これからのお育てに期待したいと思っております。

【川上委員】 私は、平田委員さんと共に、玄海小中学校に参りました。校長先生のお話と、共有で使う図書館の先生のお話を紹介したいと思います。お二人の校長先生、それぞれ単独でお会いしたのですが、中学校の校長先生は、きれいな環境だと子どもたちが穏やかに育つということで、小学校の校舎とつなぐ通路の窓に、毎朝、自ら一輪挿しにお花を生けられるそうです。自ら行動されていて、規範を示されているところに感動いたしました。小学校では、新しい試みとして、補充学級のクラスを立ち上げるということでした。先生が引率し、コミュニティで教えていただくとのことです。立ち上げに関しては、年間通した計画を立て、学力を上げていきたいということで、非常に意欲的に取り組んでいらっしゃいました。校舎内の掲示も、中学校の階段のところに、小学生と中学生が合同で行っている行事の写真が、大きな新聞形式で、非常にインパクトがあり、どなたが見ても、小学生と中学生が、穏やかな表情で行事に取り組んでいる姿が見られるようになっていました。また、図書館の先生とお会いしたのですが、お一人で担当されているので、まだ本を並べている最中で、全部終わっていないということでした。今後、昼休み等、小学生と中学生がどのように図書館の共存をしていくかを工夫していきたいとおっしゃられていました。これからのお育てにあふれた学校の姿を見てることができて、大変良かったと思います。

【平田委員】 玄海小中学校の子どもの様子を少しお伝えしたいと思います。中学校は、びっくりする程、2年生、3年生がとても落ち着いていて、しっかり授業ができるというか、集中できている感じがしました。去年まで見ていた生徒たちのなかというくらい、とてもいい雰囲気でした。ただ、やはり1年生が、少し落ち着きがないのかなと。2、3年生が良い状況であれば、段々また1年生も落ち着いてくるのではないかと思いました。玄海小学校では、子どもたちも嬉しそうですが、広くて迷うということも言っていました。「わー、迷うー！」とか言いながら、走っておりました。匠の会の方と菊の苗植えをしておりましたが、クラスごとでしたので、できれば何か一緒にすると、イベントが盛り上がりついでないかなと。少し工夫されるといいかなと、私は感じました。学校が一緒になって、いい雰囲気がここからまた作り出されるように感じました。

【中岡委員】 玄海小中学校に早朝から行くことになりました、生徒の登校、それからホームルーム、朝の会を少し見ることができました。ホームルーム等も、非常に静かに先生の話を聴いているような状況です。それから授業ももちろん、今までとはずいぶん変わってきたなという授業を見ることができました。特に感じたのは、小学生と一緒にすることで、子ど

もたちの表情等が、非常に柔らかくなってきたということです。先程出ましたけれども、小学校の体育館で、菊の花苗の贈呈式がありまして、宗像大社の権禰宜や匠の会のほうからも来られていて、6年生の男子児童1名、女子児童1名が代表でしっかりと御札の挨拶をしておりました。それから、中学校長と一緒に参加していて、職員、子どもたちが一緒に小中一貫教育を進めていこうというような意識も感じ取ることができました。東郷小学校では、聴力検査と、運動会の練習と、授業もということで、非常に慌ただしい中だったと思うのですが、特に1年生の授業規律の指導というのが、まだ入学して2ヵ月経っていない状況なのですけれども、しっかりとしていました。先生方の意識が、非常に高いなと感じることができました。また、その1年生の指導のあり方が、学校全体の意識の高さに繋がっているのかなと感じたところです。河東中学校では、前日、一日体育祭の練習ということで、授業は見ることができませんでしたけれども、生徒たちが、自分たちで練習の中身等も考えながら、積極的に活動している様子を見ることができました。1、2年生と3年生は落ち着いた状況だということですが、2年生に若干、課題のある生徒がいて、指導等に取り組んでいるという、お話を聞いてきたところです。

【井上委員長】 私は、中央中学校、自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘南小学校の3校を訪問しました。中央中学校では、今年初めて宗像市に赴任された西村校長と、日の里中学校から異動された中村教頭に話を聞くことができました。学校環境が大変良く、この状況を継続したいということ、それから、小中一貫教育では、中央中校区は大変評価されているので、このことを維持するように頑張りたいという校長の話でした。授業参観では、2、3年生は、真面目な授業態度で大変好感が持てました。1年生の授業では、非常に生徒に活気があって、私はやる気を感じました。それから、3年生の掛橋先生の英語の授業と、2年生の先生の英語の授業、これを比較させてもらったのですが、かなりの格差があるなということを感じまして、掛橋先生のエキスを吸収して欲しいと思いました。それから、自由ヶ丘中学校ですが、ここも初めて宗像市に赴任された岩村校長と話をすることができます。まず、受付のところに、当日の時間割表のプリントが出ておりませんでしたので、安高教頭に、次回から準備をするようお願いをしておきました。授業では、若干気になる生徒もありましたが、どの学年も生徒は大変落ち着いたなかで、授業が行われておりました。それから、自由ヶ丘南小学校では、中村校長より小中一貫教育推進校の横断幕について、学びの丘学園という名称の経緯について、話を伺うことができました。校内は、よく清掃が行き届いており、非常に感心いたしました。給食の準備をしているところを見学しましたが、まだ入学して1ヶ月の1年生も、しっかりと活動しておりました。上田先生にもお会いし、自由ヶ丘中校区の新任の先生の指導ということで、大変いきいきと仕事をされていたのが印象的でした。また、元校長の現在くるみ幼稚園の秋山園長にもお会いし、卒園児が十数名、自由ヶ丘南小学校に入学したので、その様子を見に来られたということでした。

⑭ 福岡教育大学との連携事業について（資料21）

【教育戦略コーディネーター】 宗像市教育委員会と福津市教育委員会と福岡教育大学との連携につきましては、昨年度から着々と準備を進めていたのですが、今年は、更にそれを進めようということで、5月9日に大学の先生方と教育委員会、それから、学校現場の先生方が集まって、第

1回目の担当者会議を開くことができました。

その他、資料21参照。その他議事録なし。(▲4分34秒)

※自由ヶ丘南小学校研究授業の6月11日を13日に修正。

【井上委員長】 今のお話を聞きまして、かなりの成果が期待できそうだと大変心強く感じました。なにしろ、大学との連携というのは、これまでできそうでできなかつたのですよね。田中コーディネーターにはこれから活躍していただきたいと思います。

【久芳教育長】 より連携を深めるために、教育大学の中に部屋をお借りするよう具体的に話を進めておりますことを付け加えて、ご報告といたします。

⑯ 小中一貫教育について（資料なし）

【羽田野指導主事】 小中一貫教育の進捗状況について、簡単にということで、ご報告いたしたいと思います。本年度、玄海中学校区が、10月25日に発表会を行いまして、それをもちまして、全中学校区が、調査研究校から推進校になるところでございます。すでに、研究発表会を終えた推進校についても、ここで終わりということではなくて、更なる充実発展に向けて、取り組みをしているところでございます。今月も各中学校区単位で、授業交流会というのをしております。例えば、中学校が授業を行う、そこで残りの小学校の方々がすべて見に行って、後で十分、検討会を行うといったところが計画されております。最近の特徴といたしまして、小中学校間の研究の接続というものを意図しまして、教科部会を設置している中学校区が多く見られます。例えば、算数と数学とか、図画工作と美術とか、そういう形で、ますます先生方の取り組みによって、小中一貫教育が進んでいるところでございます。

⑰ その他

・ 青少年海外派遣事業について

【子ども育成社会教育】 本年度青少年海外派遣事業に関し2点、口頭で報告します。使節団員の応募の結果についてですが、5月10日を申込期限として公募したところ、最終的な応募者は48名となりました。内訳は、小学6年生が11名、中学生が37名です。募集15名に対し、3倍を超える応募となりました。なお、団員選考委員会は、5月26日、日曜日に面接試験を実施します。2点目ですが、マウントロスキル校より、宗像市来日の中止の連絡がありましたので、報告します。ニュージーランドのマウントロスキル校とは、相互交流を実施しており、本年度は、10月の初旬にマウントロスキル校の生徒が来日し、宗像市内でホームステイを行う予定でしたが、中止の申し出がありました。昨年度に続く、宗像市訪問の中止となり、大変残念ですが、今年度の宗像市からの訪問については、歓迎するという姿勢は、変わらず予定しているということです。

・ 子どもの安全安心セミナーについて

【子ども育成社会教育】 緑色のチラシ、子どもの安全安心セミナーを配布しております。この子どもの安全安心セミナーとは、昨年度まで、非行防止研修会として行っていたものです。より多くの方が、参加しやすく、親しみやすいように、本年度、子どもの安全安心セミナーと改称しました。今年度は、6月15日 土曜日にメイトム宗像の多目的ホールで開催します。

各地域で、青少年健全育成活動に関わる市民の方を対象に、青少年健全育成、非行防止のための地域住人でできることや、メディアとの関わりについて、講演を実施します。

・ カナダ研修について

【子ども育成課長】 宮若市、宗像市、トヨタ自動車九州地域連携事業カナダ研修について、応募状況等を報告します。全体の募集定員12人に対し、最終的に61人の応募がありました。そのうち、宗像市枠は5人の高校生の募集に対し、28人から応募がありました。選考としては、書類選考及び面接選考を実施し、渡航する12人を決定いたしました。この12人が、今後、事前研修を重ねて、8月の本研修に臨みます。

・ 子育て支援ハンドブックについて

【子ども育成課長】 お手元のオレンジ色の冊子をご覧ください。平成25年度版の子育て支援ハンドブック、ママ・パパ応援BOOKが完成しましたので、本日配布しております。このハンドブックは、市や市民活動団体が行う、子育て支援に関する情報を集約したものです。今回、従来A4版だったものを、バッグに入るサイズに変え、内容も発達段階に応じた構成とし、写真を多く取り入れ、親しみの持てる誌面に改編しました。利用者からも使いやすくなつたと好評です。

・ 田熊石畳遺跡プレオープンイベントについて

【郷土文化交流課長】 お手元にチラシを2枚お配りしております。6月8日に、「いせきんぐ宗像」プレオープンイベントを開催いたします。イベントの内容につきましては、前回の定例教育委員会にてご説明しております。プレオープンに先立ちまして、6月1日に実施されます土曜日授業にて、東郷小学校の児童500名にポット芝の植え付けを行っていただく予定です。6月8日には、宗像高校の吹奏楽部の皆さんにオープニングに参加していただく関係で、学生も200名が当日、植え付けで参加することで、今調整をさせていただいております。それと併せて、宗像高校との連携ということで、知られざる宗像の宝、これは宗像高校四塙会館の3階に、これは旧宗像郷土館の資料、具体的には、田熊の関係の資料もたくさんございますので、少しレイアウトを変えながら、案内も含めて一般にオープンさせていただきたいと思っております。

【井上委員長】 冒頭に申し上げましたように、この後、議案第17号から第19号までの審議を行います。それでは、教育長から説明をお願いします。

【久芳教育長】 議案第17号 宗像市教育委員会教育委員長の選挙及び議案第18号 宗像市教育委員会教育委員長職務代理者の指定につきまして、井上教育委員長の教育委員長としての任期、川上教育委員の委員長職務代理者としての任期のいずれも平成25年5月22日をもって満了となります。選出方法についてですが、教育委員長は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条によりまして、委員のうちから委員長を選挙しなければならないとございます。また、委員長の選出及び委員長職務代理者の指定につきましては、宗像市教育委員会会議規則第4条第1項の規定によりまして、会議において、無記名投票により行

うとあります。さらに、同規則同条第2項に、委員の中に異議がない時は、指名推薦の方法を用いることができるとございます。委員の皆さんによろしければ、指名推薦の方法で、委員長の選出及び委員長職務代理者の指定をしていただければと思いますが、いかがですか。

【各 委 員】 異議なし。

【久芳教育長】 承諾いただきましたので、選出及び指定を行いたいと思います。会議につきましては、人事案件でございますので、非公開としたいと思いますが、よろしいですか。

【各 委 員】 はい。

【久芳教育長】 それでは、各部長および事務局員を除き、退席をお願いいたします。

以下、議事録非公開

① 議案第17号 宗像市教育委員会教育委員長の選舉について（資料なし）

② 議案第18号 宗像市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について（資料なし）

【久芳教育長】 議案第17号 宗像市教育委員会教育委員長は井上委員を当選者とし、議案第18号宗像市教育委員会委員長職務代理者は中岡委員を指定します。就任のごあいさつにつきましては、非公開中でございますので、6月の定例教育委員会でお願いしたいと思います。

③ 議案第19号 宗像市立小中学校教職員の人事について（当日配布資料）

《承認》

【井上委員長】 次回開催予定日は6月19日の水曜日、午前9時30分から301会議室にて開催します。本日は長時間お忙しい中、誠にありがとうございました。

平成25年 6月19日

井上裕之

中岡政剛